



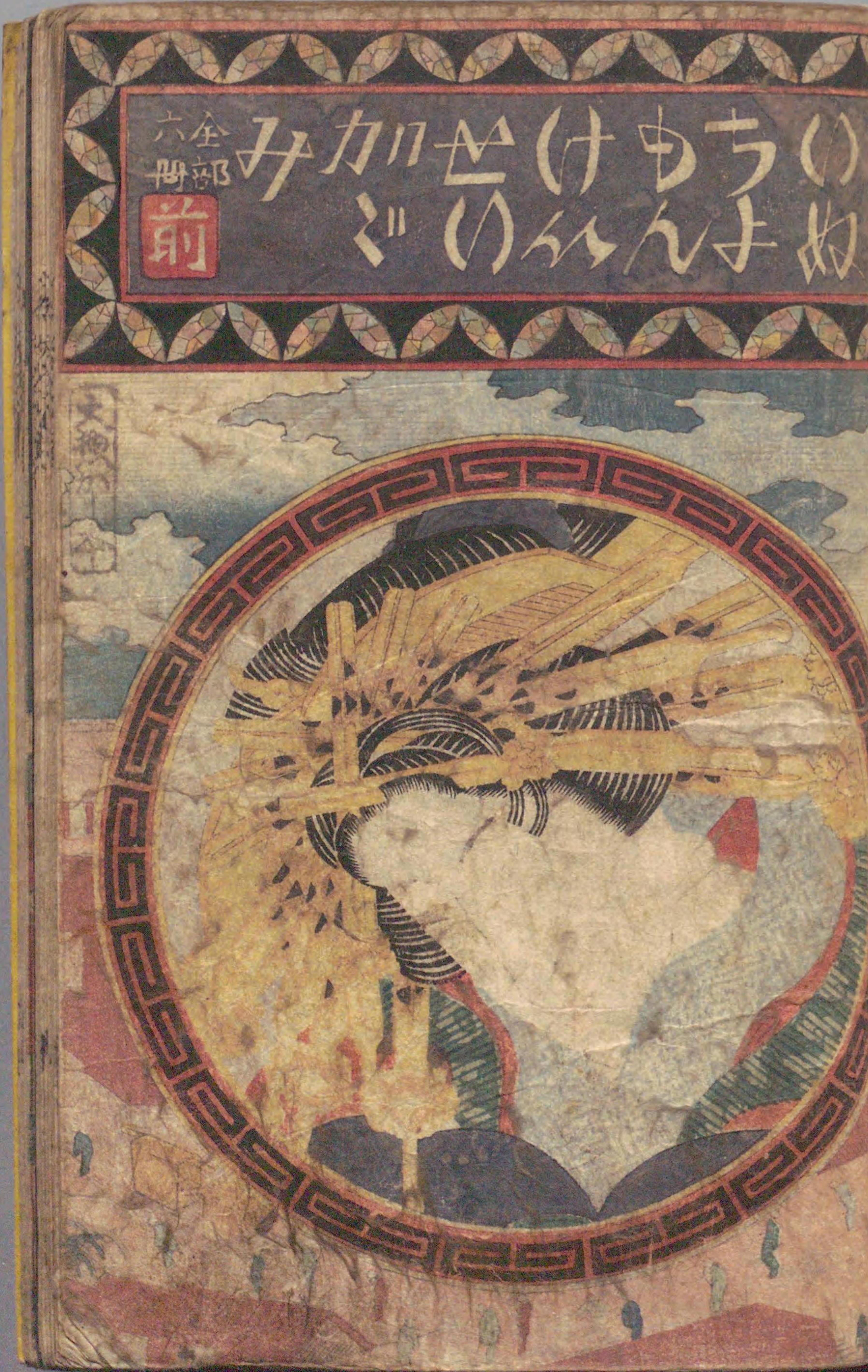
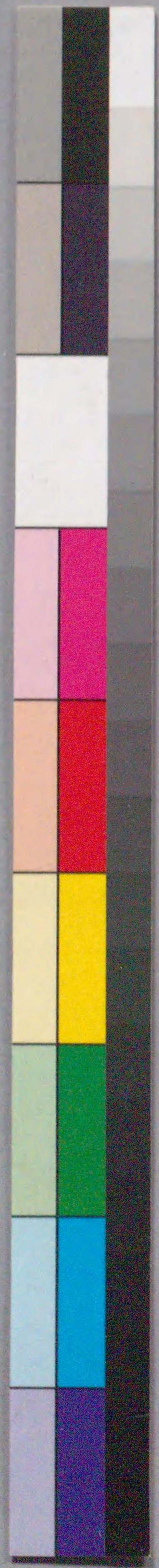
犬いぬ著ちよ聞もん傾城きやうじやう龜鑑かめかん
墨本堂磨
全

207
924



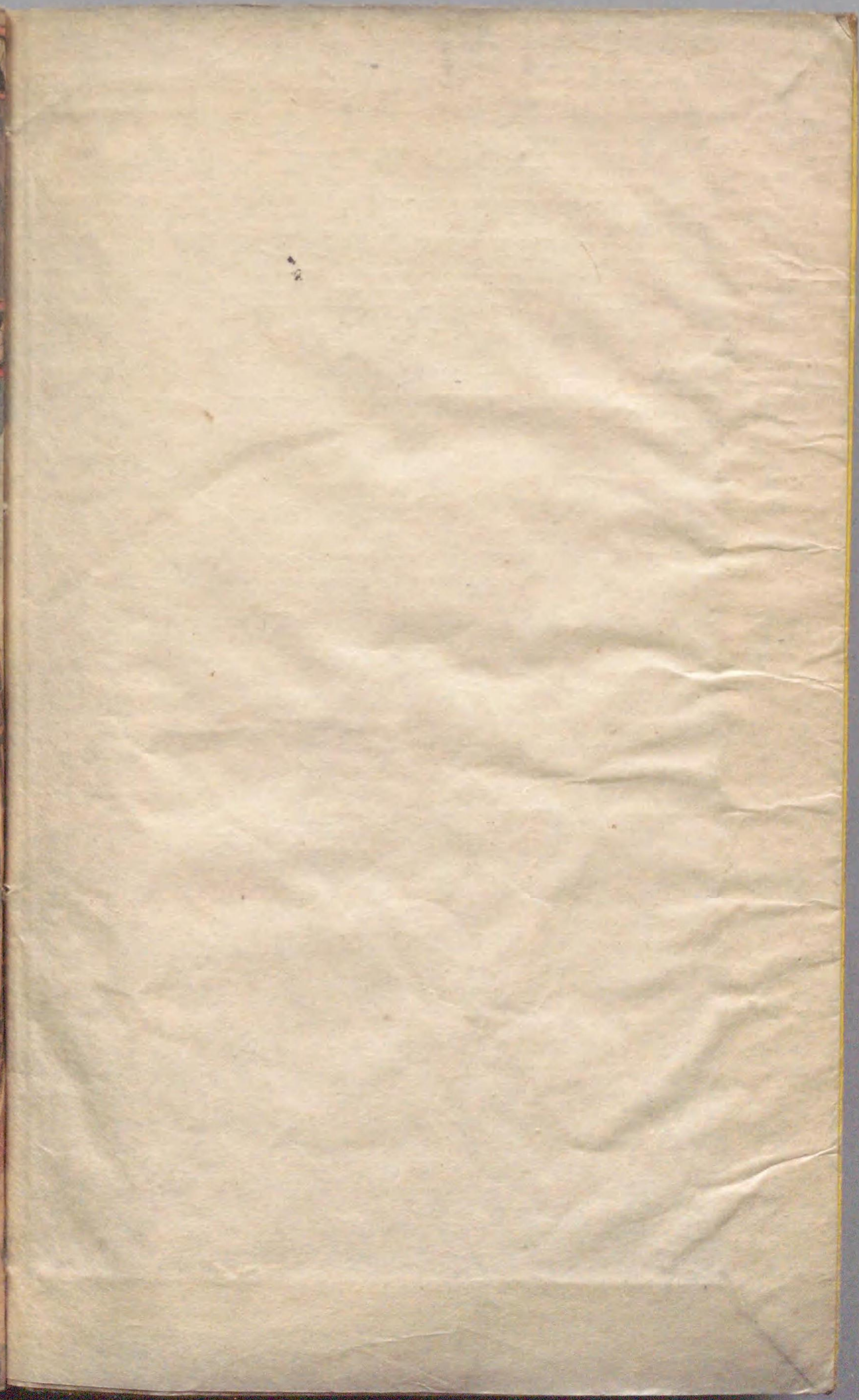
国立国会図書館 犬著聞傾城龜鑑 6卷 207-924

ガラス使用



六全
冊部
前

のちゅうけい
のんじん
のんじん
のんじん



山本の勝山
白柄十套門

犬著聞傾城亀鑑

似く非あると犬といふ武家より大徳より大徳
の教よりけ冊子とも大とよぶは戸著聞集より徳せ
勝山が変蹟とのごとく彼集より似く非なり解あり

全部六卷

前編三冊

雪麿著
英泉畫

芝神明前
佐野屋喜兵衛版

むしく昔々海より今日の日より更々昔より今日の日より非なり
赤本愛く黒く黒く黒本化て青と行は青復今の合巻と移り下
替る習繪乃嫁が姑と忽に關の日の脚月の柿の月もお正月と思の外節
句も早過生六櫻木舟疾上りと玉冊子の草稿を書費の無性な催
作者は種利の花藤の花房長々と待せ義理を蕪子花のついで
と等あ採早と勝と摺墨の真黒さ入り落成一の鉄炮手と速く
書と作の昔自己樂ふと他に見る心は非む今の草紙を綴る者
とと昔見ると樂に其上にても急作悪の言を撰す
赫技正且等剛史疾市が此剛者拵斯を昔と異吹鳴呼

文政十丁亥春新繪草紙 墨川亭雪麿作



白
の
花
枝

山本の遊君勝山
初綾婢女
勝見



伏客
白柄十右衛門
実高座家臣
花佐代兵庫之助

於
山
様
帰
の
久

白
の
花
枝

山
本
の
遊
君
勝
山

伏
客

山
本
の
遊
君
勝
山





餘綾家臣
片名谷半七

髪の色乃

七色よそひ

ふる小袖

志はあはれ

りり
きり

於花乳母
此里屋
阿雪

家根苗月

余九郎

飛鳥部圖好
常則子孫

將監
雪村の娘
於花

三

三



同
石部金吉



かろく月小
あつた
あまの
ひ終
え

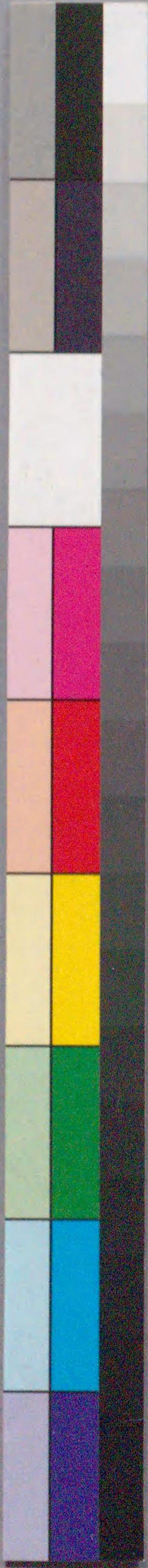
於雪が娘
阿長

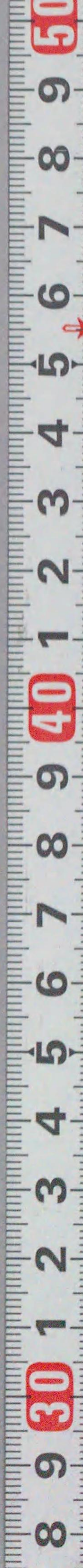
同
餘家臣
早井賀博次



同
鹿都辺
顔七
ち心
き結
元山









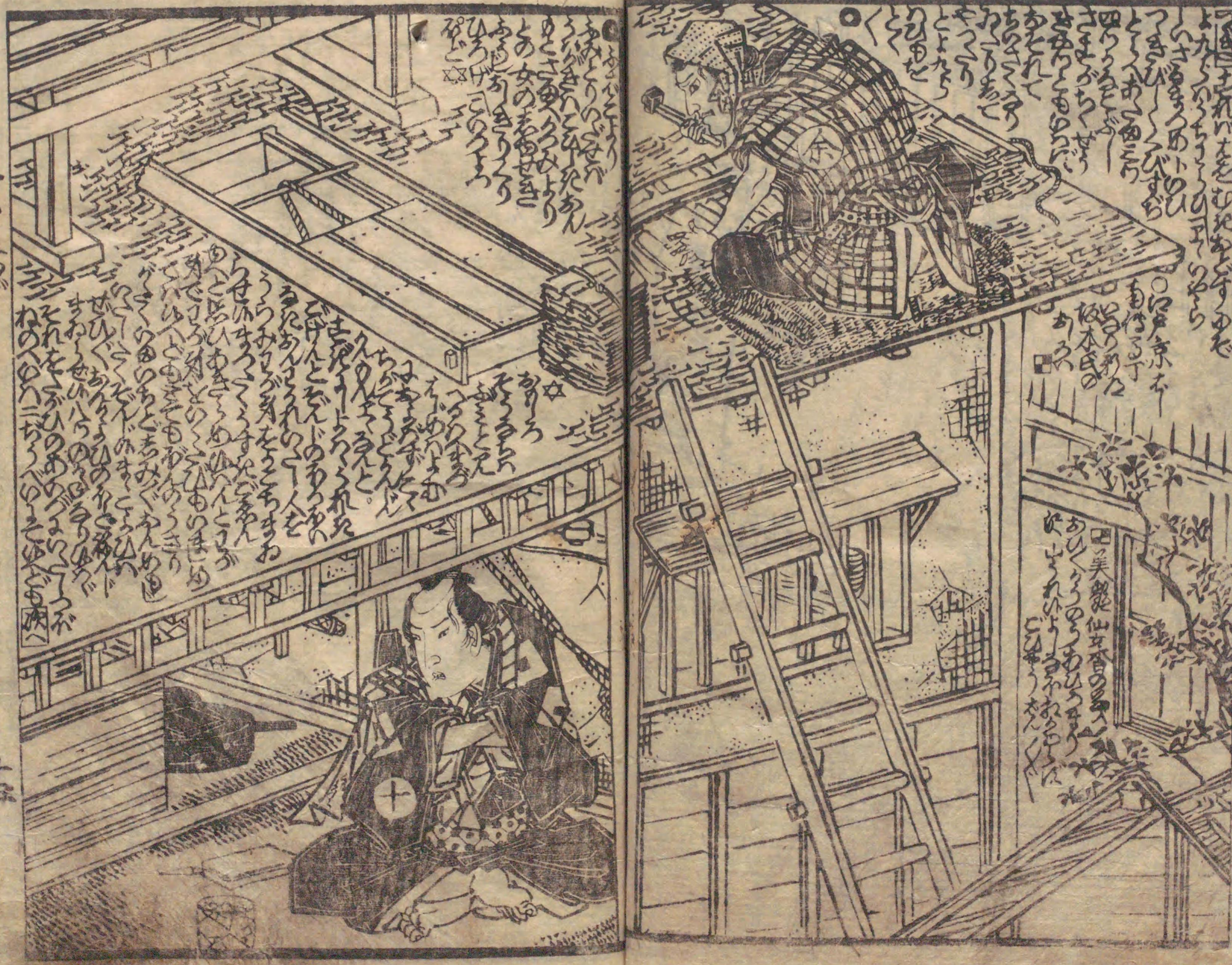
Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or dialogue related to the illustration. The text is dense and covers most of the page area.



Handwritten text in vertical columns, continuing the commentary or dialogue from the left page. The text is dense and covers most of the page area.







ナハル

十一



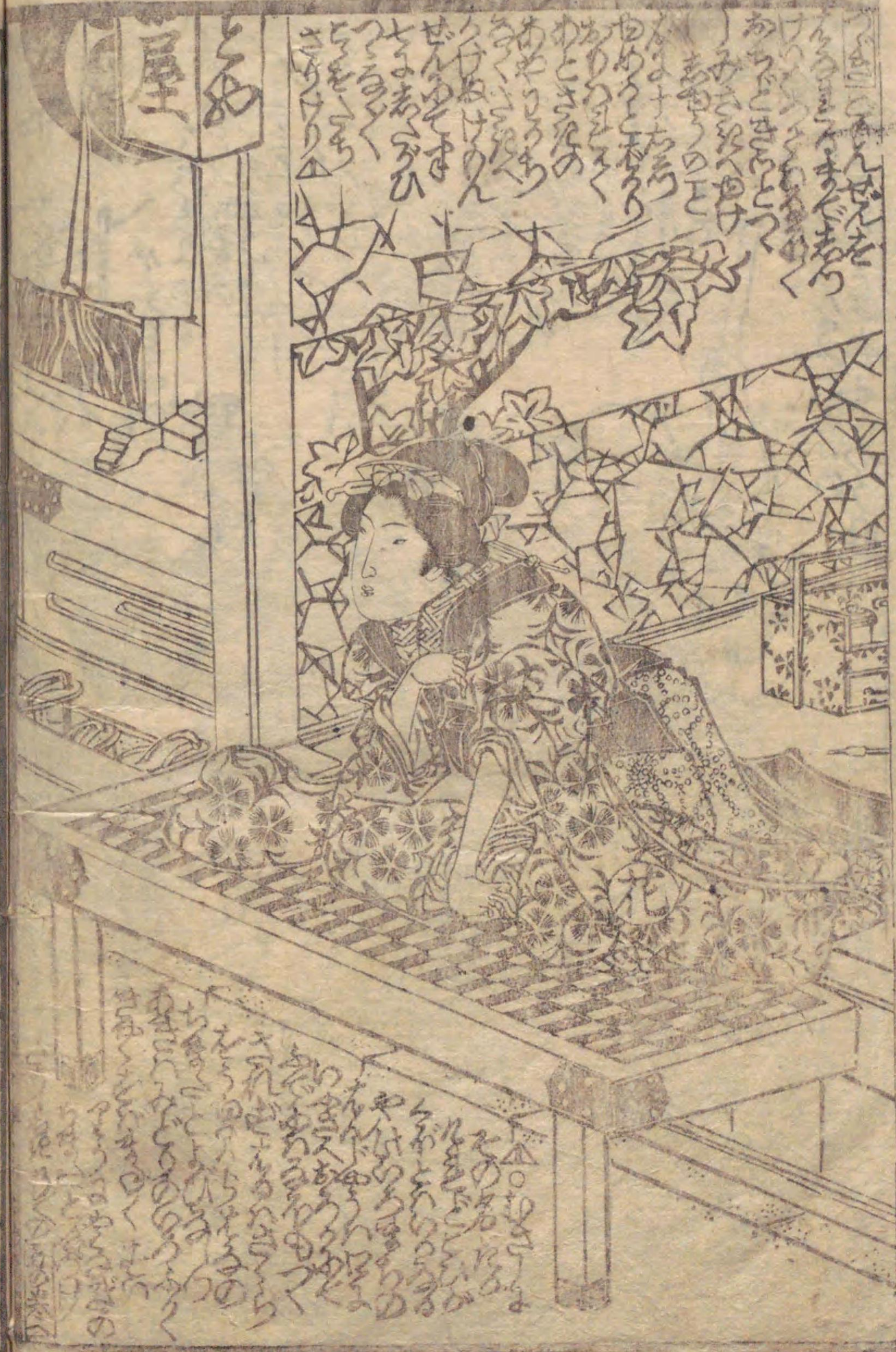
靈磨 作 英 泉 画 佐 野 屋 板
文政 亥 春 新 撰 後





入替目





犬

廿一









大老

廿五



大老

廿六



Handwritten text at the top of the pages, likely serving as a title or chapter heading.

Large blocks of handwritten text on the upper half of both pages, possibly representing dialogue or narrative text.



Handwritten text at the bottom of the pages, likely providing commentary or additional narrative details.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the right margin of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.





大老道



8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 6 7 8 9 50

大 著 者 江

十 九



207
924

文政十稔丁亥春喜鶴堂新

枝珊胡京打算

山本勝山犬著聞傾城鑑

白根若草鳥也蘭白藤

風流懷中將某

美艷仙女香

代紙

繪草紙問屋
東都芝神明前
三嶋町角

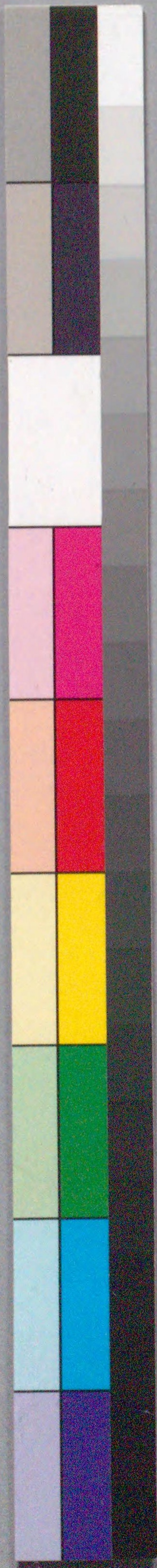
英泉画

墨川亭三磨作



大正

三十



国立国会図書館 犬著聞傾城亀鑑 6巻 207-924



ガラス使用

